

Recent progress in microbial safety in water environment

～水環境の微生物学的安全性に関する研究の動向～

日時： 2017年5月31日（水）

場所： 13:30 – 17:00（13時開場）
東京大学本郷キャンパス 福武ホール 地下2階 福武ラーニングシアター
<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>

参加費： 無料（参加申し込みは不要です。当日直接会場にお越し下さい。）
お問い合わせ 31may2017water@gmail.com

【プログラム】（同時通訳あり、内容は変更になる場合があります）

13:30 開会の挨拶（片山浩之 日越大学 / 東京大学）

13:40 Progress on Quantitative Microbial Risk Assessment
Mark H. Weir



オハイオ州立大学、Assistant Professor
Ph.D.（環境工学、ドレクセル大学）
QMRA に関連し、病原微生物の挙動と動力学モデル
の開発で学位を取得。2009 年より、
Center for Advancing Microbial Risk Assessment（CAMRA）
のアソシエイトディレクターを務める。

14:20 Progress on Microbial Source Tracking
Anicet R. Blanch



パリセロナ大学、Full Professor
Ph.D.（生物学、パリセロナ大学）
MST 研究を中心に標準化のための技術パネル（CEN/ISO）
に関する専門知識を持ち、現在、飲料水の試験方法の向上
を目的とした EU 大規模研究プロジェクト
AQUA VALENS のメンバーを務める。

15:00 – 15:15 休憩

15:15 水環境における新規ウイルス指標に向けて
片山浩之（日越大学 / 東京大学大学院工学系研究科）

15:30 琵琶湖南湖でレクリエーションはどの程度可能か？
田中宏明（京都大学大学院工学研究科）

15:45 微生物遺伝子マーカーを活用した河川水中の糞便汚染源解析
原本英司（山梨大学大学院総合研究部）

16:00 血液型決定抗原陽性大腸菌のノロウイルス指標性
佐野大輔（東北大学大学院工学研究科）

16:15 総合討論

16:45 閉会の挨拶（田中宏明 京都大学）